

2. 教科に関する調査の結果（概要）

(1) 調査問題の趣旨・内容、課題等、指導改善のポイント

○調査問題の趣旨・内容

数学A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 正の数と負の数とその計算、文字式の計算をする。一元一次方程式を解く。
■ 対称移動した図形をかく。多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ。
■ 反比例のグラフから式を求める。一次関数の表からグラフを選ぶ。
■ 与えられた資料の最頻値を求める。確率について、正しい記述を選ぶ。

数学B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 前提となる条件を判断し、それが適している理由を表の数値を基にして説明する。
■ 2種類の自動車を使用する際の総費用が等しくなる使用年数を求める方法について、式またはグラフを用いて説明する。
■ 付加された条件の下で、見いだした事柄について数学的な表現を用いて説明する。
■ グラフの形や代表値に着目して、平均値を用いて判断することが適切でないことを説明する。

○課題等

主な特徴

- 空間における直線と直線の位置関係の理解について、多角形の外角の和の性質の理解について、改善の傾向がみられる。〔A5〕(1), 〔A6〕(2)
- 自然数の意味の理解、証明の必要性和意味の理解、資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。〔A1〕(2), 〔A8〕, 〔A2〕(1)
- 記述式問題のうち、図形の性質について筋道を立てて証明することや与えられた式を用いて問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。〔B4〕(1), 〔B6〕(2) また、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。〔B5〕(1)

数と式

- ◇(A) 正の数と負の数の加法の計算、整式の加法と減法の計算、2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り2つの二元一次方程式で表すことは、相当数の生徒ができています。〔A1〕(3), 〔A2〕(2), 〔A3〕(4)
- ◆(A) 自然数の意味の理解について課題がある。〔A1〕(2)
- ◆(A) 一元一次方程式の解の意味の理解について課題がある。〔A3〕(2)
- ◆(B) 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することに課題がある。〔B1〕(2)

図形

- ◆(A) 垂線の作図の方法の理解について課題がある。〔A4〕(1)
- ◆(A) 柱体と錐体の体積の関係の理解について課題がある。〔A5〕(4)
- ◆(B) 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。〔B4〕(2)

関数

- ◇(A) 比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることは、相当数の生徒ができています。〔A9〕(1)
- ◆(A) 反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことについて、引き続き課題がある。〔A9〕(4)
- ◆(B) 前提となる条件が不足している場合に、加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある。〔B2〕(2)

資料の活用

- ◆(A) 資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。〔A2〕(1)
- ◆(B) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。〔B5〕(1)

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…数学A, B…数学B
〔 〕内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

数と式

- 方程式の解の意味を、具体的な値を代入して得られた結果に着目して捉える活動の重視
 - ・ 方程式の解の意味についての理解を深められるようにするために、様々な数を方程式の変数（未知数）に代入し、代入した値がその方程式を満たす値となるかどうかについて検討し、方程式の解について確認する活動を重視することが大切である。
- 数学的に処理された結果に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実
 - ・ 文字を用いて処理した式に基づいて、問題を解決する方法を説明することができるようにするために、問題を解決するための対象を捉え、その上で、文字を用いた式を読み取り、解釈について検討し、それを数学的に説明する活動を充実させることが大切である。

図形

- 証明の必要性と意味を、証明された命題に着目して捉える活動の重視
 - ・ 証明の必要性と意味についての理解を深められるようにするために、証明された命題がその仮定を満たすすべての図形に例外なく成り立つことを確認する活動を重視することが大切である。その際、仮定を満たすいくつかの具体的な図形について取り上げ、改めて証明する必要があるかどうかを検討する場面を設定するなどして、同じ証明が成り立つことを確認する活動を充実させることが大切である。
- 筋道を立てて証明したり、見いだしたことを数学的な表現を用いて説明したりする活動の充実
 - ・ 命題における結論を導くために何がわかればよいかを明らかにし、与えられた条件を整理することを通してその命題が成り立つことを筋道を立てて証明したり、それを検討したりする活動を充実させることが大切である。
 - ・ 新たに条件を加えた際に、見いだした事柄の前提に当たる条件と、それによって説明される結論について検討し、それらを数学的に表現する活動を充実させることが大切である。

関数

- 2つの数量の関係を表・式・グラフを用いて捉え、関数関係を見だし表現する活動の重視
 - ・ 2つの数量の関係から関数関係を見いだすことができるようにするために、具体的な事象における2つの数量の変化や対応の特徴を表・式・グラフを用いて捉え、それらを相互に関連付けて考察することを通して、どのような関数になりそうか検討し、関数を判断する活動を重視することが大切である。
- 事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実
 - ・ 数学的な結果を事象に即して解釈することができるようにするために、問題解決のために用いたグラフを事象に即して捉え直したり、振り返ったりする活動を充実させることが大切である。
 - ・ 様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実することが大切である。その際に、問題解決のために表した表・式・グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実させることが大切である。

資料の活用

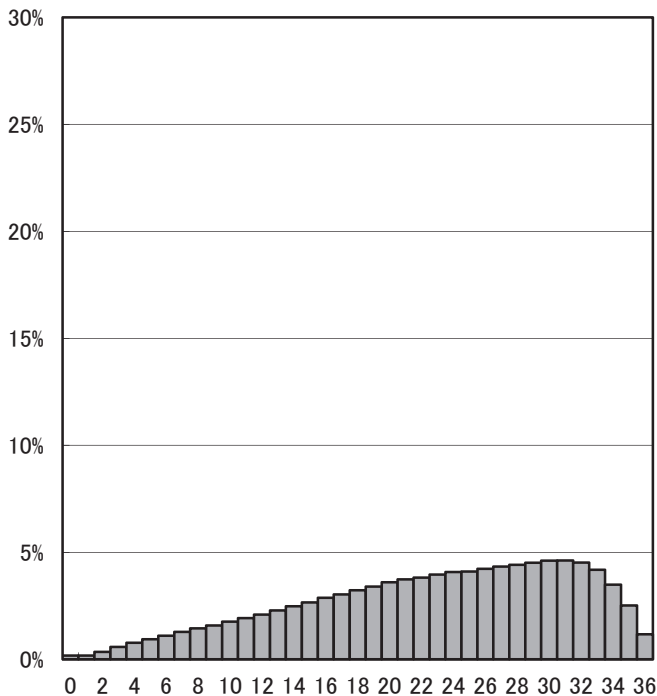
- 資料の傾向を読み取るために、資料を整理した表などから代表値を求める活動の重視
 - ・ 資料の傾向を適切に判断するために、目的に応じてデータを収集し整理した表などから、代表値を求める活動を重視することが大切である。
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実
 - ・ 日常生活や社会における問題に対して、資料を用いて傾向を的確に捉え問題を解決できるようにするために、収集したデータを整理したグラフの形から分布の特徴を視覚的に捉えたり、代表値を求めて比較したりするなど、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動を充実させることが大切である。

(2) 集計結果 (正答等の状況)

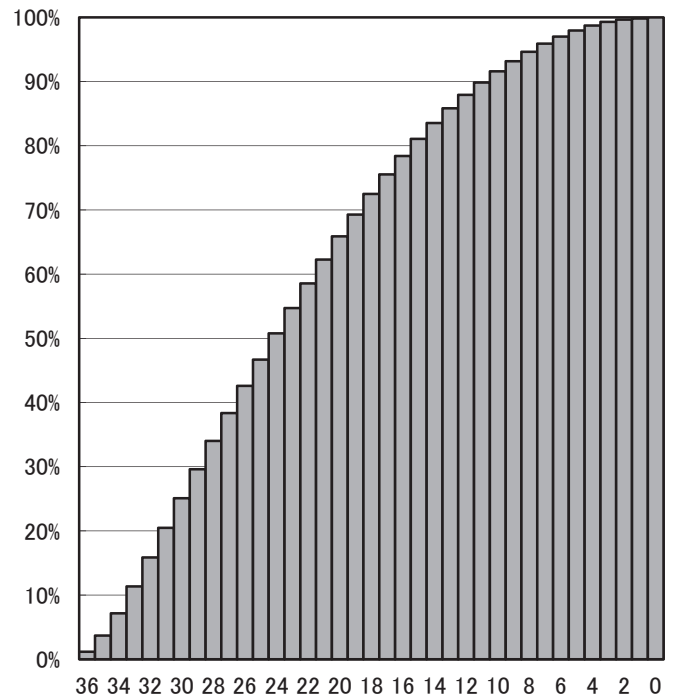
【数学A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,038,044 人	22.6 問/36 問	62.8%	24.0 問	8.3	31 問

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



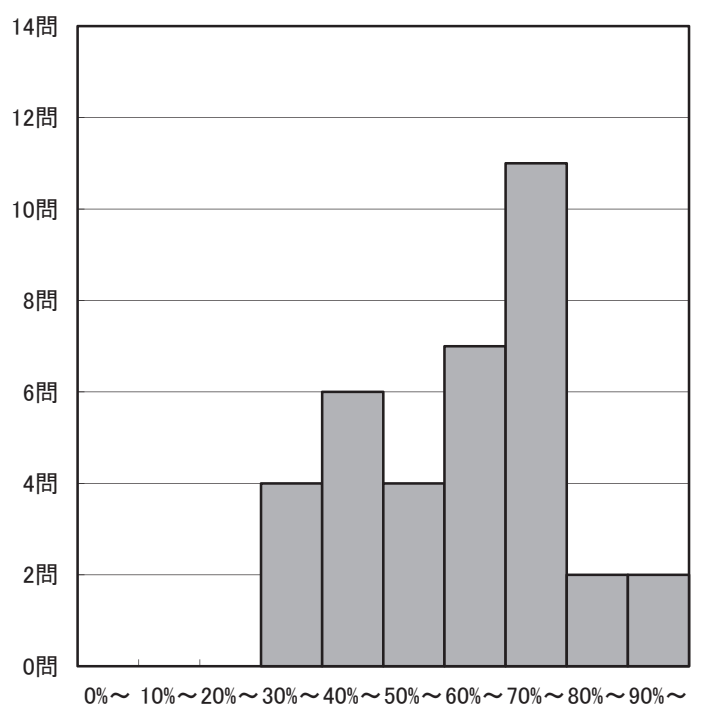
正答数累積グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域	数と式	1 2	66.5
	図形	1 2	67.5
	関数	8	52.9
	資料の活用	4	57.0
評価の 観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な技能	1 9	67.5
	数量や図形などについての知識・理解	1 7	57.4
問題形式	選択式	1 3	58.4
	短答式	2 3	65.3
	記述式	0	

正答率別設問数 (横軸: 正答率, 縦軸: 設問数)



設問別集計結果

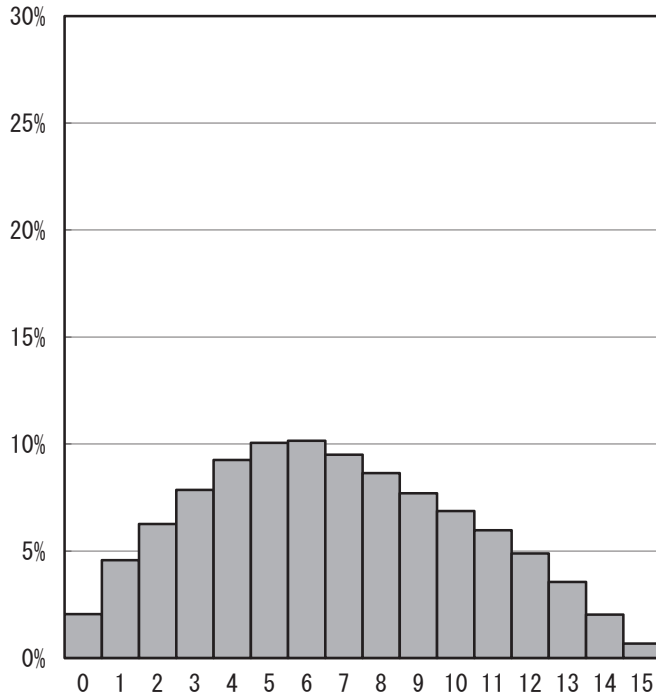
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	小6 (1)					○*			○			67.8	4.8
1 (2)	-5, 0, 1, 2.5, 4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	1 (1) ア							○	○			41.4	0.2
1 (3)	$-3 + (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	1 (1) ウ					○			○			91.8	0.7
1 (4)	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1 (1) ア,エ							○	○			69.6	0.3
2 (1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1 (2) エ					○			○			33.6	12.1
2 (2)	$(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2 (1) ア					○			○			84.3	2.4
2 (3)	ある数aについて、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	1 (2) エ					○			○			78.5	0.3
2 (4)	等式 $s = ah$ をhについて解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる	2 (1) ウ					○			○			68.7	7.9
3 (1)	一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1 (3) ウ					○			○			71.9	4.9
3 (2)	一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	1 (3) ア							○	○			48.2	0.5
3 (3)	縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板について、縦の長さが4.5cmのときの横の長さx cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	1 (3) ウ					○			○			52.7	14.9
3 (4)	方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる	2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる	2 (2) イ,ウ					○			○			90.0	5.3
4 (1)	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	1 (1) ア							○	○			31.1	0.8
4 (2)	$\triangle ABC$ を、直線 l を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる	1 (1) イ					○			○			72.4	1.9
5 (1)	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係(辺と辺がねじれの位置にあること)を理解している	1 (2) ア							○	○			75.9	2.5
5 (2)	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している	1 (2) イ							○	○			74.6	5.4
5 (3)	立方体の見取図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる	1 (2) イ					○			○			79.2	0.6
5 (4)	円柱の体積が 600cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している	1 (2) ウ							○	○			51.0	13.9
6 (1)	平行線や角の性質を用いて $\angle APB$ の大きさを求める	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる	2 (1) ア					○			○			75.4	4.4
6 (2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している	2 (1) イ							○	○			69.8	0.8
7 (1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している	2 (2) ア							○	○			71.3	0.7
7 (2)	ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる	2 (2) イ,ウ					○			○			75.1	11.1
7 (3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している	2 (2) イ							○	○			72.4	7.5
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	2 (2) イ,ウ							○	○			62.3	1.2
9 (1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる	1 (1) エ					○			○			88.1	3.1
9 (2)	比例 $y = 2x$ について、xの値が1から4まで増加したときのyの増加量を求める	比例の式について、xの値の増加に伴うyの増加量を求めることができる	1 (1) エ					○			○			40.3	11.8
9 (3)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している	1 (1) イ							○	○			42.9	1.3
9 (4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、xとyの関係を式で表すことができる	1 (1) エ					○			○			35.6	14.4
10 (1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している	2 (1) イ							○	○			62.6	1.6
10 (2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合が一定でaの値に等しいことを理解している	2 (1) イ							○	○			55.3	21.9
10 (3)	一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める	一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求めることができる	2 (1) イ					○			○			44.1	18.4
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる	2 (1) ア					○			○			54.0	13.8
12 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	1 (1) ア							○	○			46.2	17.0
12 (2)	ある郵便物の重さについて、デジタルばかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している	1 (1) イ							○	○			35.4	2.5
13 (1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している	2 (1) ア							○	○			66.4	1.9
13 (2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる	2 (1) ア					○			○			79.9	8.3

* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。

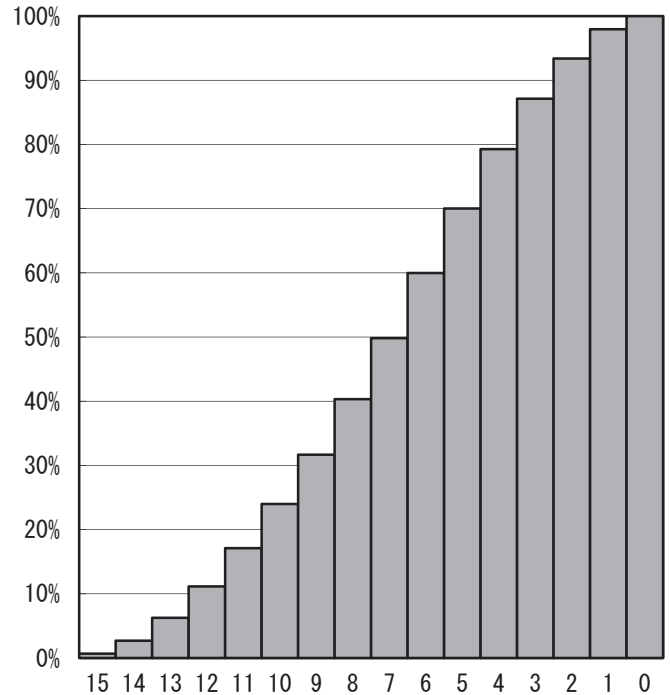
【数学B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,038,129人	6.7問/15問	44.8%	6.0問	3.6	6問

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



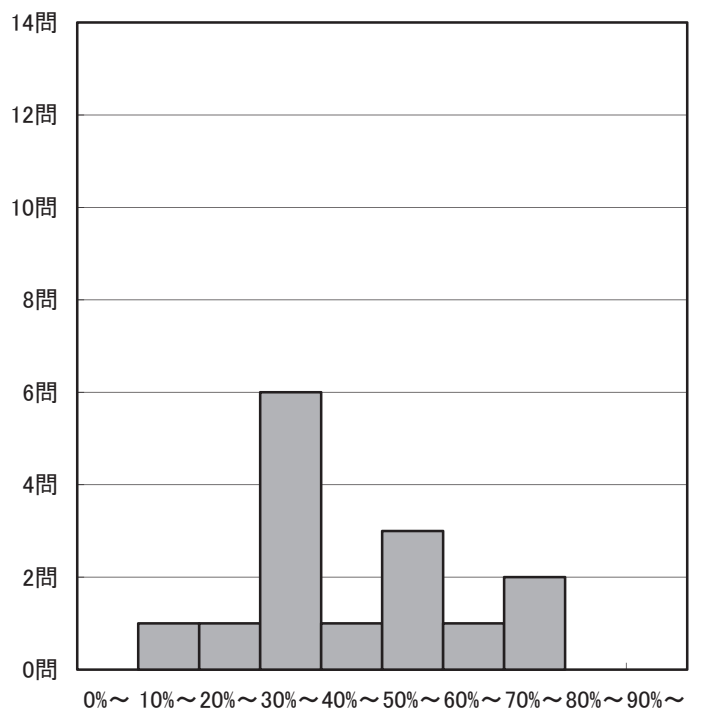
正答数累積グラフ（横軸：正答数，縦軸：累積割合）



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と式	6	52.3
	図形	2	34.0
	関数	5	42.1
	資料の活用	2	39.7
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	11	39.6
	数学的な技能	4	58.9
	数量や図形などについての知識・理解	0	
問題形式	選択式	2	41.9
	短答式	6	58.3
	記述式	7	33.9

正答率別設問数（横軸：正答率，縦軸：設問数）



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式			
1 (1)	1 試合の時間を 1 6 分とすると、1 回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	1 (3)ウ							○			○		79.8	1.2
1 (2)	葉月さんの提案を取り入れたとき、1 試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	1 (3)ウ							○			○		34.6	18.8
1 (3)	1 試合の時間を 1 0 分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1 (3)ウ							○			○		52.3	2.2
2 (1)	一次関数の表から $x=4$ のときの y の値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる			2 (1)イ								○		59.3	8.5
2 (2)	$x=4$ のとき $y=9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる			1 (1)エ					○			○		21.6	8.0
3 (1)	A 車を購入して 1 0 年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			2 (1)イ、エ								○		68.1	3.3
3 (2)	B 車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる			2 (1)イ、エ					○			○		30.1	0.7
3 (3)	A 車と B 車について、式やグラフを用いて、2 つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2 (1)イ、エ					○			○		31.2	11.8
4 (1)	2 つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる			2 (2)イ、ウ					○			○		30.0	21.8
4 (2)	$DA : DC = 1 : 2$ のときの $\triangle DEC$ がどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる			2 (2)ウ					○			○		38.1	29.9
5 (1)	2 4.5 cm の靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1 (1)イ					○			○		48.1	18.8
5 (2)	2 5.5 cm の靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる			1 (1)イ								○		31.3	33.2
6 (1)	最初に決めた数が 5 のとき、手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	小 4 (4)										○*		76.9	12.5
6 (2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	2 (1)イ、ウ							○			○		16.3	40.6
6 (3)	当てる方法を変えるとき、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することができる	2 (1)ウ							○			○		53.6	4.4

* 評価の観点は、数量や図形についての技能（小学校）に対応させている。

(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等

■ 数学Aと数学Bの相関等

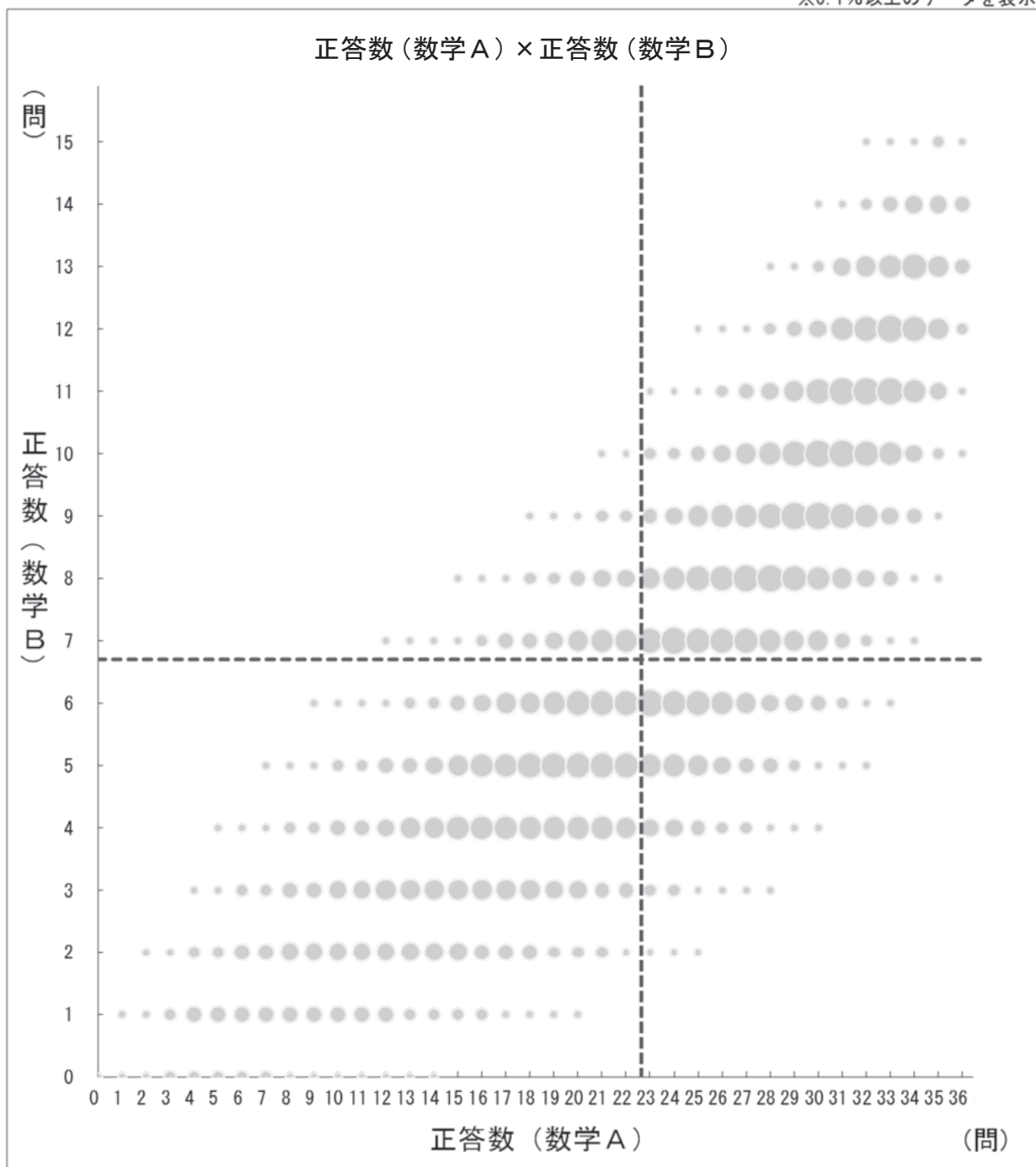
- 中学校において、数学Aと数学Bの正答数に高い相関（相関係数0.812）が見られる。
- 「数学Aは平均以上」かつ「数学Bは平均未満」の生徒の割合は11.3%、「数学Aは平均未満」かつ「数学Bは平均以上」の生徒の割合は6.4%となっている。

数学Aの正答数、数学Bの正答数、正答生徒数の相関をバブルチャートに表したもの。

※ バブルチャート：2軸の座標軸の上に、大きさが3軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

生徒数	全国（国公立） 数学A平均正答数	全国（国公立） 数学B平均正答数	生徒の正答数分布状況（上段：生徒数 下段：生徒数の割合（%））				相関係数
			数学A・数学B ともに平均以上	数学Aは平均以上 数学Bは平均未満	数学Aは平均未満 数学Bは平均以上	数学A・数学B ともに平均未満	
1,037,442	22.6	6.7	450,743	117,189	66,239	403,271	0.812
			43.4	11.3	6.4	38.9	

※0.1%以上のデータを表示

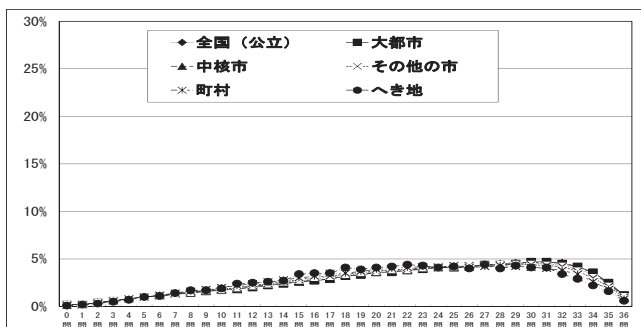


※グラフの点線は、全国（国公立）の平均正答数を表す。

(4) 地域の規模等の状況

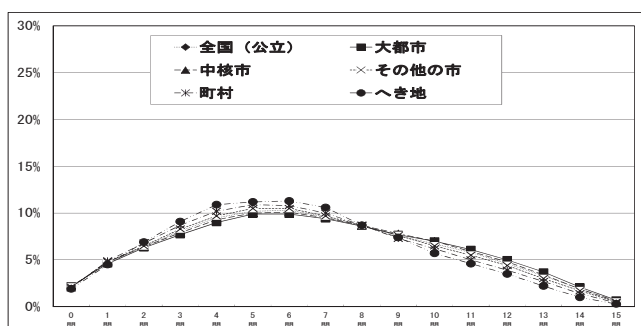
○ 平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差を見ると、27年度同様、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られない。

[数学A] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	996,502	22.4 / 36	62.2	23.0	8.3
大都市	237,936	22.6 / 36	62.8	24.0	8.4
中核市	147,455	22.6 / 36	62.8	24.0	8.4
その他の市	511,871	22.2 / 36	61.6	23.0	8.3
町村	90,254	21.8 / 36	60.4	23.0	8.2
へき地	15,332	21.5 / 36	59.8	22.0	8.0

[数学B] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	996,578	6.6 / 15	44.1	6.0	3.5
大都市	237,951	6.8 / 15	45.0	7.0	3.6
中核市	147,494	6.7 / 15	44.4	6.0	3.5
その他の市	511,926	6.5 / 15	43.4	6.0	3.5
町村	90,221	6.3 / 15	42.3	6.0	3.4
へき地	15,322	6.2 / 15	41.5	6.0	3.3

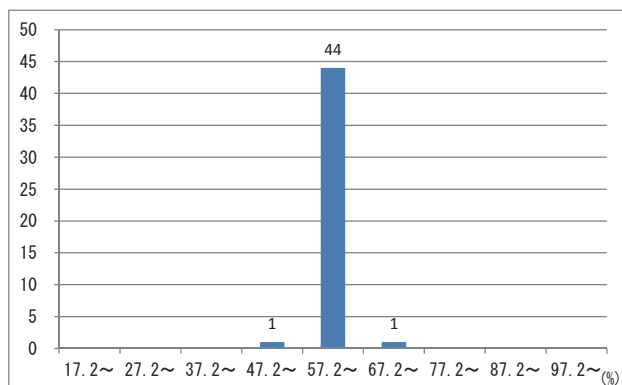
※大都市（政令指定都市及び東京23区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。

※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

(5) 都道府県の状況

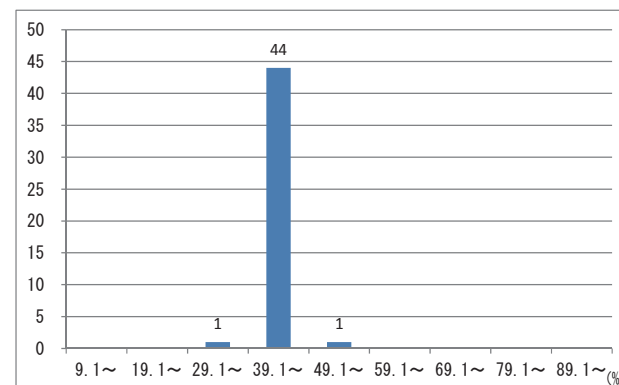
○ 各都道府県（公立）の状況については、平均正答率を見ると、27年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない。

[数学A] 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県数）



全国（公立）の平均正答率	全都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	全都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
62.2%	69.3% 【+7.1%】	54.3% 【-7.9%】

[数学B] 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県数）



全国（公立）の平均正答率	全都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	全都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
44.1%	50.8% 【+6.7%】	37.0% 【-7.1%】

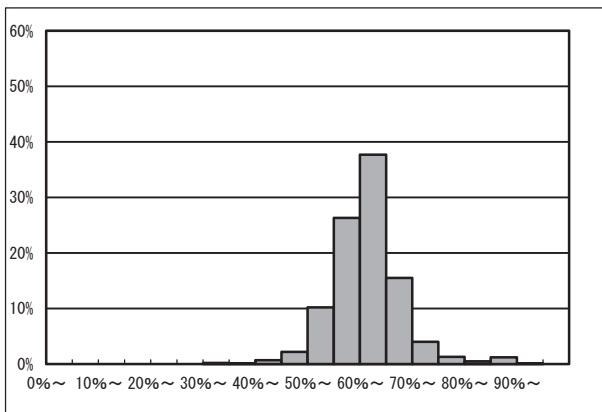
(6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、27年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[数学A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,739	22.1 / 36	61.4	61.2	6.6

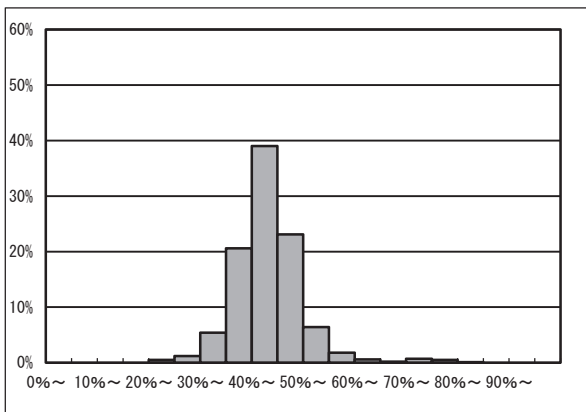
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



[数学B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,739	6.5 / 15	43.2	42.8	6.8

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



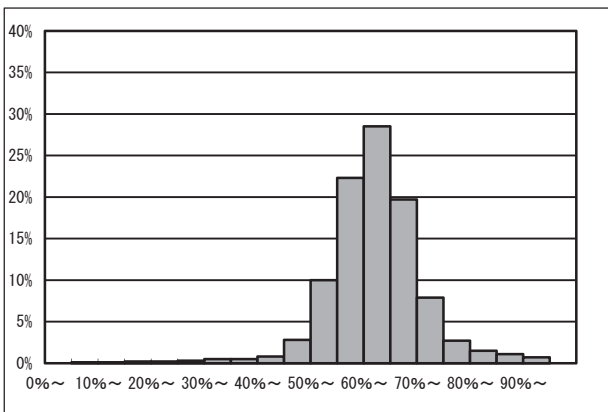
(7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、27年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[数学A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
9,903	22.4 / 36	62.1	62.1	9.2

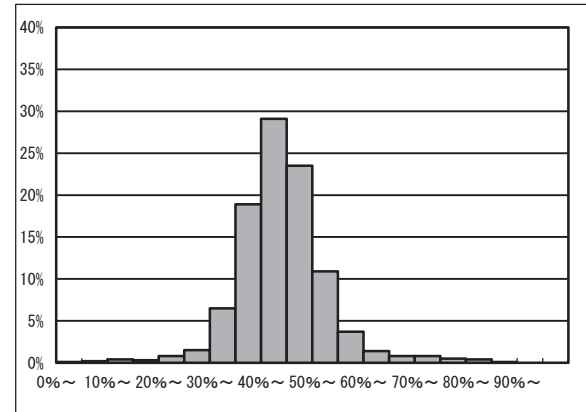
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）



[数学B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
9,902	6.6 / 15	44.0	43.6	9.0

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）

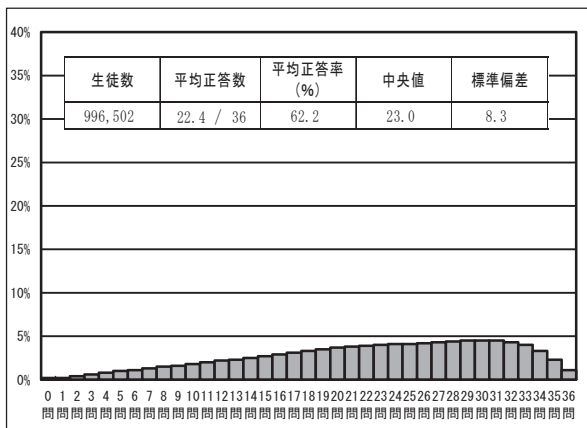


(8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、27年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

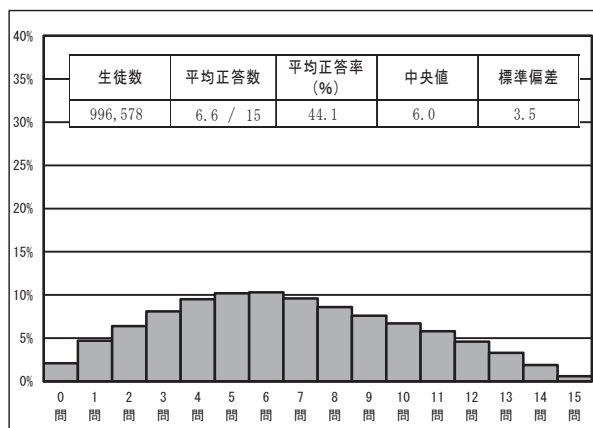
[数学A]

<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)

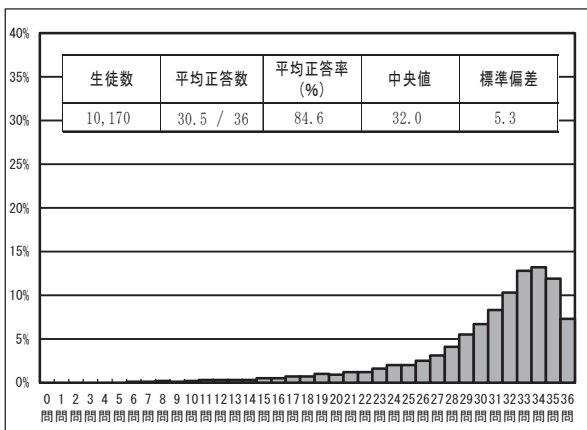


[数学B]

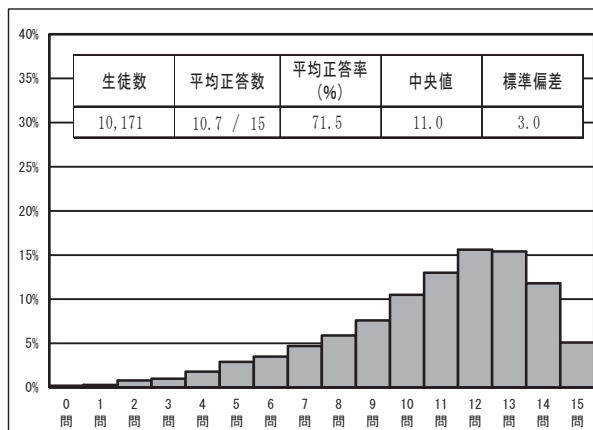
<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



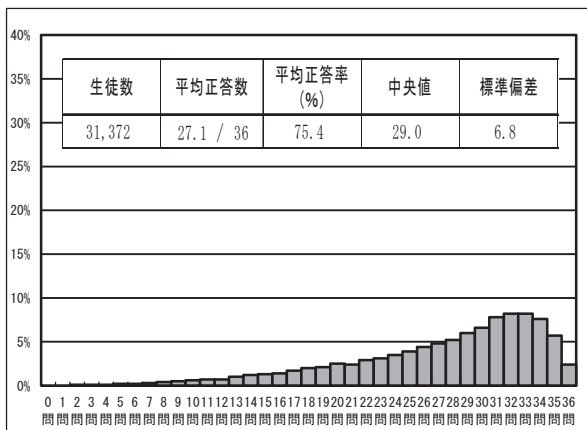
<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)

